

第3回 市長まちかどトーク

日 時 令和4年9月30日（金）

15:30～17:00

場 所 スタッフA様宅

参加者 スマイニデキル

スタッフ・関係者の皆様 5名

テーマ：災害（水害）に強いまちづくりについて



市長まちかどトーク第3回目は、スマイニデキルの皆様との90分間の意見交換でした。まず参加された皆様からのご意見を頂き、その後市長がお話しました。内容を抜粋して掲載しております。

<スマイニデキルの皆様のご意見>

1. 行橋市は災害が少なく、ずっと行橋に住んでいる人は、防災に対する意識が市外の人に比べて低いように思う。
2. 一方、市外からの転入も多いので、災害に対する意識が高い方もいる。
3. 生活の三大要素である「衣・食・住」のうち、「住」は大変重要であり、仕事や生活で長く使う場所として大切である。そして長く住むためには、災害に強い住宅が必要だと考える。
4. 現在、行橋市では災害に強い住宅を建てるための行政からの補助はほぼ無い。補助金等を整備し、安心して長く住める住宅を建てるための支援があるといいと思う。災害対策を施した長く住める家も、そのうち空き家になってしまう。

<市長のコメント>

- ・市民の皆様の中には、大雨のたびに避難したり、実際に浸水してしまう箇所があることは承知している。水害のほかにも地震災害など、様々な災害に対する行政と地域住民との連携が充分ではないと考える。
- ・行政から市民に対する補助については様々な要望がある中、何に補助を出すのか、財源の確保や対象の条件選定が課題である。
- ・災害対策もそうだが、行政だけでは完結できないことも多い。安全・安心なまちづくりというめざす方向は同じだと思うので、行政のみならず、市民・企業にも、課題解決に向け一緒に取り組んでもらいたい。
- ・社会の課題を解決するために、行政と民間が協力して、市民の満足度を向上させていくことが必要。
- ・「家を考える」ことは、まちづくりの観点からも、SDGsの観点からも、もう少し積極的に考えたいという気持ちになった。まちづくりにおける住宅の在り方は、もっと意識していいことだと感じた。